

わたしたちの「はな？」
女性の「はな？」



①

山本蓮氏

「なぜ女性たちは地方を去るのか？」
「あるある」で終わらせない声を上げはじめた私たち

2024年10月27日(日) 10:00~12:00
山形テルサ 3階 会議室 (定員 30名)



②

石川優実氏

「傷を抱えながら声を上げる」
～ほっとできる時間、持っていますか?～

2024年11月24日(日) 10:00~12:00
山形テルサ 3階 研修室 A (定員 30名)



③

片山枝美氏

「性暴力被害の現状とそのサポート」

2024年12月22日(日) 10:00~12:00
山形テルサ 3階 研修室 A (定員 30名)

各回 入場無料

対象者 / 性自認男性以外の方のみ



*要予約 QRコードからご予約ください

*お越しの際は有料駐車場をご利用ください

連続講座

わたしたちの〈はて?〉 ～女性の"生きづらさ"はどこからくるのか～

ジェンダーギャップ指数 118 位のこの国で生きている私たち。
男女共同参画基本法や女性活躍推進法が制定されてなお、どうしてこんなに〈生きづらい〉のでしょうか。

さまざまな困難のなかで声を上げ、声を拾い、それぞれの場所であらがい続けている
3 人のお話から、私たちの「はて?」を探っていきましょう。

Sisterhood



2024 年 10 月 27 日 (日) 10:00~12:00

山形テルサ 3 階 会議室 (定員 30 名) (山形市双葉町 1-2-3)

「なぜ女性たちは地方を去るのか?

「あるある」で終わらせない 声を上げはじめた私たち」

山本蓮 氏

1999 年生まれ、山梨県韮崎市出身。都留文科大学 文学部 比較文化学科卒。

2021 年、内閣府後援「生涯活躍のまち・つる ビジネスプランコンテスト」特別奨励賞受賞。

2023 年より、経産省採択事業の未踏的女子発掘事業 GRIT 参加「地方女子プロジェクト」を運営開始。現在はフリーランス Web デイレクター。2024 年 6 月放送の NHK クローズアップ現代『女性たちが去っていく 地方創生 10 年・政策と現実のギャップ』に出演し、大きな話題となる。



2024 年 11 月 24 日 (日) 10:00~12:00

山形テルサ 3 階 研修室 A (定員 30 名) (山形市双葉町 1-2-3)

「傷を抱えながら声を上げる

～ほっとできる時間、持っていますか?～」

石川優実 氏

職場でのヒール義務付けに抗議する「#KuToo 運動」署名発信者。2017 年英 BBC100 の女性選出。現在は過去の性被害の影響から複雑性 PTSD の治療について発信。傷を負った女性たちにコーヒーを通してほっとする時間を持ってもらうために「コーヒー&フェミニズム ルールブルー」を運営。不定期でカフェイベントを行っている。



2024 年 12 月 22 日 (日) 10:00~12:00

山形テルサ 3 階 研修室 A (定員 30 名) (山形市双葉町 1-2-3)

「性暴力被害の現状とそのサポート」

片山枝美 氏

やまがた性暴力被害者サポートセンターコーディネーター、公認心理師、性教育認定講師

1973 年村山市生まれ。平成 7 年より 10 年間、山形県警察官として勤務。平成 28 年からやまがた性暴力被害者サポートセンターで性暴力被害者支援に携わっている。現在は自分の心とからだを守るために、性暴力についての知識や包括的性教育とコミュニケーションを伝える講話も行なっている。



※この連続講座は、休眠預金を活用した民間公益活動として、当該助成金を活用して制作されました。
事業名：若年困窮女性の孤立防止と経済的自立支援
指定活用団体：一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) 資金分配団体：公益財団法人地域創造基金さなぶり



Sisterhood
特定非営利活動法人 Sisterhood



Instagram



Website